

# 令和2年度 藤が丘小学校重点研究 全体計画

## 1 研究主題

研究主題

**ひびき合い、高め合い、できる喜びを得られる子どもの育成**  
～問題を自ら見出し、対話を通して解決策を考える授業の工夫～

低学年ブロックテーマ	高学年ブロックテーマ
自分の思いをもち 思いのままに 表現することを楽しむ子	自分の思いをもち 効果的に 表現することを楽しむ子

## 2 研究主題設定の理由

新学習指導要領に示される「生きる力」に不可欠な資質・能力を育成するために  
「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善が必要とされています。

### ・ 「主体的な学び」

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学びの実現。

### ・ 「対話的な学び」

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学びの実現。

### ・ 「深い学び」

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学びの実現。

(中央教育審議会の答申)

この重要なキーワードを踏まえた上で、学校教育目標「ひびき合い 共によりよく生きる」を達成するべく、〈言語を活用する力〉、〈認め合う力〉の育成を目指していきたい。

学ぶことに興味・関心をもつことで、自ら問題を見だし、友達や教師等との対話を通じて自分の考えを広げ、解決策を考える学習を積みかせねていくことによって、達成に近づくのではないかと考えた。

これらの子どもの姿を目指した授業研究・授業改善を行い、確かな学力向上を図っていく。

### 3 研究の内容

#### (1) 研究テーマ達成のための公開授業

昨年度までに作成された年間カリキュラム（フジカリ2020）を検証しながら、各学年で計画的な指導をしていく。そのうちの1単位時間以上の授業を公開していく。

- ・新指導要領改訂のポイントを踏まえ、学習を展開していく。
- ・小中9年間の系統性をとらえ、各学年で〈言語を活用する力〉〈認め合う力〉の育成を意識し、授業づくりをしていく。
- ・「問題解決的な学習」「対話的な学習」を意識して授業を組み立てる。
- ・プログラミング的思考を育てられる学習を推進していく。

#### (2) 藤が丘小学校のカリキュラムマネジメント

昨年度までに作成された年間カリキュラム（単元配列表）を検証しながら、よりよいものにアップデートしていく。

### 4 研究の方法

- ① 各学年一人以上が研究授業を行う。
  - ・年間、授業研究会を4回行う。
- ② 研究授業に至るまでには、授業者のみならず学年（ブロック）全体で、指導案検討ならびに事前研を行い、授業に臨むようにする。
- ③ A（1・3・5）学年部会・B（2・4・6・個別支援）学年部会を設置し、部会ごとに指導案検討をする。
- ④ 授業後の研究会は、会議室で行う。全員が集まり討議の視点を確認した後、部会ごとに分かれて協議を行う。講師の先生が複数来てくださる際には、講師との話合いで実技研修などを伴うなど、協議の場所も変更となる場合もある。

※ 指導案は事前に講師の先生に送るため、授業研究会の10日前までに作成し、講師の先生の数＋4部印刷する。授業研究会では、2日前までに指導案を40部印刷し、配布する。

### 5 研究組織

#### 【全体会】

- ・研究の方向性について、全教職員で確認し、共通理解を図るとともに、研究の共有化を図る。
- ・授業研究会当日は、事前の部会指導案検討で課題となったことを全体化する。  
また、講師の先生の紹介と全体的な指導講評を受ける。

#### 【低・個別、高学年部会】

- ・教材研究、指導案検討および実践事例研究を通して研究を深める。

【推進委員会】

- ・重点研究がより深められるように企画・立案・運営をし、研究の推進を図る。また、部会の研究における諸種の成果や課題について検討し、全体会に提案することにより研究の共有化を推進する。
- ・本校カリキュラム政策を推進し、作成する。

【低・個別、高学年部会の構成】 ●推進員長 ◎副推進員長 ○推進委員

A 部会	1年		
	3年		
	5年		
B 部会	2年		
	4年		
	6年		

6 研究会日程表

研究日	講師				内容	
講演 5月19日(火)	横浜市教育委員会指導主事				主体的・対話的な深い学びのある授業づくり	
研修会 7月30日(木)	先生				問題を解決できる調べ学習の進め方	
研究日	部会	年	授業者	教科・領域	講師	指導案検討日
第1回授業研 9月11日 (金)	A	3				8月27日(木) 9月1日(火) 発送
	B	4				
第2回授業研 9月25日 (金)	B	2				9月8日(火) 9月15日(火) 発送
第3回授業研 11月27日 (金)	A	5				11月6日(金) 11月17日(火) 発送
	B	6				
第4回授業研 1月22日 (金)	A	1				12月24日(木) 1月12日(火) 発送
	B	個				

授業研予備日 10月30日(金) 1月29日(金)

## 7 その他

### (1) 推進委員会運営分担当表

回	月 日	主な内容	司会	記録
1	4月 7日 (月)	R2年度重点研究計画案検討		
2	4月21日 (火)	R2年度重点研究計画案検討 全体会		
3	5月25日 (月)	授業研の進め方 指導案書き方		
4	6月30日 (火)	フジカリアップデートについて		
5	7月21日 (火)	今後の研究体制について		
6	9月 3日 (木)	第1回授業研確認 フジカリメンテナンス		
7	9月18日 (金)	第2回授業研確認 フジカリメンテナンス		
8	10月23日 (金)	第3回授業研確認 フジカリメンテナンス		
9	11月13日 (金)	第4回授業研確認		
10	12月22日 (火)	フジカリメンテナンス		
11	1月15日 (金)	フジカリメンテナンス		
12	2月 5日 (金)	研究のまとめについて フジカリメンテナンス		
13	2月19日 (金)	来年度の研究について フジカリアップデート		
14	3月12日 (金)	研究のまとめと来年度の研究について 全体会 フジカリ2021完成		

### (2) 推進委員会役割分担

役割・仕事		担当者
全	研究テーマ・研究内容の作成	
	研究計画・推進委員会資料作成	
授業研究会		
・授業研究会運営分担当表の作成		
・授業会場の調整・準備・式次第作成		
・講師依頼状作成、発送 ・お礼状作成、発送 ・指導案発送		
・講師案内・誘導		
・指導案の表紙作成印刷		
・講師用バインダー、ペン、便箋、指導案の用意		
・講師用靴箱名札 用意・職員玄関立て看板の用意		
・フォルダ管理 (写真・指導案・考察)		
カリ作成部会		
・カリ作成の計画立案・運営		
・単元配列表 (学年) アップデート		
・ハイパーリンク ・フォルダ管理		